

まちの話題

①「定位つけ！操作始め！よし！」

和水町消防操法大会



▲竹下団長から優勝旗を授与される第5分団Bチーム

6月25日(日)の午前8時30分から、和水町スカイドーム2000駐車場で、第1回和水町消防操法大会が開催されました。

あいにくの雨のなかの大会となりましたが、竹下団長率いる413名の消防団員の参加のもと、7分団17チームで消防操法の技を競い合いました。

競技結果については、次の通りです。

- ◆ 優勝 第5分団Bチーム（山十町・下平・野中・松木原）
 - ◆ 準優勝 第5分団Aチーム（中十町・打越・猿懸・山口）
 - ◆ 3位 第2分団Aチーム（用木・萩原）
- なお、優勝チームは、7月30日(日)に和水町体育館で行われる、玉名郡消防大会に出場されます。みなさんの応援をよろしくお願いします。

②夏の風物詩

和水町緑彩館「茅の輪くぐり」



▲和水町緑彩館出荷協議会のみなさんがきくすい荘に饅頭を届けられました

ます。

この「茅の輪」は、緑彩館出荷協議会のみなさんが自生している茅を刈り取り、竹を軸に編みこんで作ったものだそうです。協

わ、茅で作った大きな輪をくぐることで、福を招き、災いを除けるといわれています。

期間中は、たくさんのお客さんが訪れ、お賽銭が供えられました。また、緑彩館では、直径約15~20cmの「ミニ茅の輪」も5千個用意され、「お守り」として無料

でプレゼントされました。期間中に供えられたお賽銭は、地域に還元したいという協議会のみなさんの願いから、和楽荘、きくすい荘、清風苑の入居者の方に饅頭が配布されました。また、熊本日日新聞社を通じて熊本善意銀行に寄付も行われました。



▲園児と楽しく踊る坂梨お父さん

6月29日(木)、和水町立神尾保育園で「1日お父さん」と題し、交流会が行われました。今回は坂梨町長をはじめ4人のお父さんたちが絵本の読み聞かせや七夕飾り、ダンスなどで園児たちと楽しい1日を過ごしました。

園児達は普段とは違うお父さんに戸惑いながらも、お父さんの言うことをきちんと聞くことができました。4人のお父さんも普段の真面目な顔とは違った自然と笑顔を浮かべていました。

④4人のお父さん大奮闘！

1日お父さん



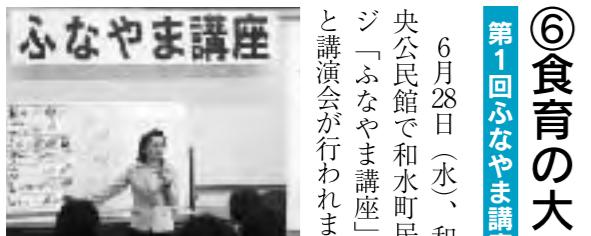
▲通訳の方を交えて会話をされる吳英姫市長と坂梨長町

③韓国公州市から表敬訪問

姉妹都市との交流

6月23日(金)、公州市から吳英姫市長をはじめとする43名の一行が和水町を表敬訪問されました。公州市と旧菊水町は1979年9月に、古墳が取り持つ縁で姉妹都市となり交流を深めできました。この日は、6月定例議会中でしたが、遠路からの嬉しさ訪問を受け、議会を一時休憩し町議会議員、町職員で歓迎しました。一時間足らずの僅かな時間の中に、思い出話や今後のことなど、約1年ぶりの交流ができました。

6月までの任期であった吳英姫市長にとっては在任期間最後のご訪問となりました。そして、古墳祭が行われる8月1日(火)には、李暎遠新市長他9名が来庁され、公州市と和水町の姉妹友好の調印式が行われます。



▲おもしろおかしく話をしてくれた上妻妙さん

⑥教育の大切さを実感

第1回ふなやま講座



⑤菊水柔道クラブが初優勝！

西居旗大会

6月28日(水)、和水町中央公民館で和水町民カレッジ「ふなやま講座」開校式と講演会が行われました。講師に上級食育指導士の上妻妙さんをお迎えして「心も身体も生き生きと、粹に生きる」と題した講演は、現代の毎日の食事がどんな影響を及ぼしているかなどを、食育の大切さを実体験を踏まえてお話しいただき、とても興味深い内容でした。

今年度のふなやま講座は、全5回の開催を予定しています。

①「定位つけ！操作始め！よし！」

和水町消防操法大会



▲竹下団長から優勝旗を授与される第5分団Bチーム

6月25日(日)の午前8時30分から、和水町スカイドーム2000駐車場で、第1回和水町消防操法大会が開催されました。

あいにくの雨のなかの大会となりましたが、竹下団長率いる413名の消防団員の参加のもと、7分団17チームで消防操法の技を競い合いました。

競技結果については、次のとおりです。

- ◆ 優勝 第5分団Bチーム（山十町・下平・野中・松木原）
 - ◆ 準優勝 第5分団Aチーム（中十町・打越・猿懸・山口）
 - ◆ 3位 第2分団Aチーム（用木・萩原）
- なお、優勝チームは、7月30日(日)に和水町体育館で行われる、玉名郡消防大会に出場されます。みなさんの応援をよろしくお願いします。

②夏の風物詩

和水町緑彩館「茅の輪くぐり」



▲和水町緑彩館出荷協議会のみなさんがきくすい荘に饅頭を届けられました

ます。

この「茅の輪」は、緑彩館出荷協議会のみなさんが自生している茅を刈り取り、竹を軸に編みこんで作ったものだそうです。協

わ、茅で作った大きな輪をくぐることで、福を招き、災いを除けるといわれています。

期間中は、たくさんのお客さんが訪れ、お賽銭が供えられました。また、緑彩館では、直径約15~20cmの「ミニ茅の輪」も5千個用意され、「お守り」として無料

でプレゼントされました。期間中に供えられたお賽銭は、地域に還元したいという協議会のみなさんの願いから、和楽荘、きくすい荘、清風苑の入居者の方に饅頭が配布されました。また、熊本日日新聞社を通じて熊本善意銀行に寄付も行われました。